



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス
 コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(TEL) 045-941-1388

—

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 143,169 | △20.6 | △5,793 | — | △6,606 | — | △11,931 | — |
| 2020年3月期 | 180,220 | △7.6 | 6,649 | △50.7 | 5,501 | △53.7 | 447 | △90.3 |

(注) 包括利益 2021年3月期 △10,775百万円(—%) 2020年3月期 △664百万円(—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | △140.77 | — | △9.0 | △2.8 | △4.0 |
| 2020年3月期 | 5.23 | — | 0.3 | 2.4 | 3.7 |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 237,260 | 125,850 | 52.9 | 1,479.87 |
| 2020年3月期 | 229,843 | 139,209 | 60.5 | 1,641.34 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 125,487百万円 2020年3月期 138,981百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | 4,351 | △11,518 | 13,265 | 29,941 |
| 2020年3月期 | 14,803 | △16,418 | △1,098 | 23,843 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年3月期 | — | 23.00 | — | 23.00 | 46.00 | 3,921 | 880.0 | 2.8 |
| 2021年3月期 | — | 10.00 | — | 0.00 | 10.00 | 847 | — | 0.6 |
| 2022年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 | | 65.2 | |

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|------|-------|---|-------|---|---------------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通 期 | 169,350 | 18.3 | 5,000 | — | 4,100 | — | 1,300 | 15.33 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2021年3月期 | 90,649,504株 | 2020年3月期 | 90,649,504株 |
| 2021年3月期 | 5,853,274株 | 2020年3月期 | 5,974,058株 |
| 2021年3月期 | 84,759,153株 | 2020年3月期 | 85,577,316株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 6,858 | 5.1 | 1,020 | 57.8 | 3,165 | △44.8 | 1,910 | △60.8 |
| 2020年3月期 | 6,523 | 15.3 | 646 | △26.9 | 5,737 | △18.8 | 4,878 | △25.5 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 22.54 | — |
| 2020年3月期 | 57.00 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|---------|--|---------|--|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2021年3月期 | 182,081 | | 114,730 | | 62.8 | 1,348.73 | | |
| 2020年3月期 | 163,525 | | 114,429 | | 69.8 | 1,348.69 | | |

(参考) 自己資本 2021年3月期 114,367百万円 2020年3月期 114,200百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

・決算補足説明資料については、2021年5月13日(木)の決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(決算説明会資料について)

・当社は、2021年5月28日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会（電話会議）を開催する予定です。この決算説明会資料等については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | 頁 |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (追加情報) | 12 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |
| 4. その他 | 17 |
| 役員の異動 | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、期中において一時的に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症（以下、「同感染症」といいます。）拡大に伴う緊急事態宣言などの影響により、経済活動は引き続き制限されており厳しい状況で推移しております。また、同感染症の収束時期は依然として不透明であり、先行きは予測を許さない状況が継続しております。このような環境のなかで、当社グループは各事業において同感染症への対応を中心に下記のような諸施策を実施しましたが、同感染症の影響を想定以上に受けたこと等により、当連結会計年度の業績は、

| | |
|-----------------|--|
| 売上高 | 1,431億69百万円（前年同期比20.6%減） |
| 営業損失 | 57億93百万円（前年同期は営業利益66億49百万円） |
| 経常損失 | 66億6百万円（前年同期は経常利益55億1百万円） |
| 親会社株主に帰属する当期純損失 | 119億31百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益4億47百万円） |

となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、コロナ禍においても人生の節目を迎えるフレッシュャーズの皆様に向けて、同世代で活躍しているグループSexy Zoneと女優の今田美桜さんを起用した「フレッシュャーズ応援フェア」を開催しご好評をいただきました。商品面では、新生活様式が定着するなかで国内をはじめ海外からもご好評をいただいている「パジャマスーツ」のラインナップを拡大するとともに、新たに立体縫製技術などの専門店の強みを活かした高機能・高性能でありながらお手頃価格の「アクティブワークスーツ」を発売いたしました。オンラインショップでは、デジタル接客の強化を図り「お気に入り登録」、「レビュー機能」や「リモートスタイリングサービス」などの新サービスを導入いたしました。店舗面では、ORIHICAで3店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためAOKIで7店舗、ORIHICAで6店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は628店舗（前期末638店舗）となりました。

これらの結果、3月はフレッシュャーズ商戦が好調に推移したものの、同感染症の拡大は継続し1月には緊急事態宣言の発令や解除時期の延期に伴う外出自粛及び一部店舗の時間短縮営業などの影響等により、売上高は853億87百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は14億99百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、新生活様式に合わせた「チャペルウエディング」、「ファミリーウエディング」や「フォトウエディング」に加え、遠方のゲストの方々にも気軽にかつ安全にご参加いただける「オンラインウエディング」及びペットと一緒に楽しむ「ペット婚」など様々なウエディングスタイルを提案いたしました。また、結婚式前日までのプロセスを全てオンラインで行えるサービスを導入し、スムーズで安全なウエディングを提供いたしました。店舗面では、契約満了により豊洲店を閉鎖した結果、期末店舗数は12店舗（前期末13店舗）となりました。

これらの諸施策を実施しコスト削減にも努めましたが、挙式・披露宴の延期等により施行組数が大幅に減少し、売上高は80億33百万円（前年同期比63.9%減）、営業損失は30億88百万円（前年同期は営業利益4億39百万円）となりました。

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業では、同感染症への対策を徹底し営業を継続してまいりました。複合カフェの快活CLUBは、テレワーク・テレスタディ需要の高まりを受け、WEBカメラの無料貸し出しサービス、WEB会議用アプリやマイクロソフトオフィスの導入に加え、「寺島文庫」オリジナル動画配信などにより、新たな店舗の活用方法を提案いたしました。コート・ダジュールは、「TV・動画視聴」、「テレワーク・勉強」や「楽器の練習」等のカラオケ以外の多彩なサービスの提供により利用の促進を図りました。FIT24は、24時間営業のセルフ型フィットネスジムとしての強みに加え、快活CLUBと設備・サービスを相互利用できる独自の強みにより順調に推移いたしました。店舗面では、期初に決定していた快活CLUBで50店舗、FIT24で18店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため11店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は659店舗（前期末602店舗）となりました。

これらの諸施策を実施しましたが、同感染症拡大による外出自粛と一部店舗の臨時休業や時間短縮営業などの影響及び新規出店に伴う費用の増加等により、売上高は484億99百万円（前年同期比16.9%減）、営業損失は51億90百万円（前年同期は営業利益26億72百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、引き続き当社グループの閉店店舗の賃貸を推し進めたこと等により、売上高は38億76百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は6億78百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ74億16百万円増加し、2,372億60百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が仕入高の減少等により40億69百万円及び未収入金等その他が16億98百万円減少した一方、借入れの実施等により現金及び預金が60億98百万円、売掛金が22億30百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ25億55百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により52億35百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ48億61百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入れを110億円実施したこと及び電子記録債務が26億60百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ152億54百万円増加いたしました。固定負債は、長期借入金が110億円の借入れ及び約定返済等の結果55億82百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ55億21百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純損失及び剰余金の配当の結果147億26百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ133億59百万円減少しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|----------------------|-----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,803百万円 | 4,351百万円 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △16,418 | △11,518 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,098 | 13,265 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,714 | 6,098 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,558 | 23,843 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 23,843 | 29,941 |

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、税金等調整前当期純損失となった一方、長期借入れの実施及び法人税等の支払いが減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ60億98百万円増加し、299億41百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、43億51百万円（前年同期と比べ104億51百万円減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が116億14百万円、減価償却費が93億80百万円、減損損失が19億91百万円及びたな卸資産の減少額が40億69百万円となったことによるものです。

投資活動により使用した資金は、115億18百万円（前年同期と比べ49億円減少）となりました。これは主に、設備投資のための有形固定資産の取得を102億70百万円、無形固定資産の取得を6億70百万円実施したことによるものです。

財務活動により得られた資金は、132億65百万円（前年同期と比べ143億64百万円増加）となりました。これは主に、設備資金のための長期借入れを110億円及び短期借入れを110億円実施した一方、長期借入金の約定返済を34億93百万円、リース債務の返済を24億46百万円及び配当金の支払いを27億95百万円実施したことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、同感染症の広がり方や収束時期等、先行きは不透明な状況が続くものと思われま。このような環境のなかで、同感染症への対応を継続するとともに、新生活様式に合わせた諸施策を実施し新たな価値の創造を図ってまいります。

ファッション事業では、コロナ禍における必需品の企画・開発・改良に加え、これまでにない新たな商品群「ホーム&ワークスタイル」及び働く女性に向けた商品群の企画・開発・拡充に注力するとともにオンラインショップ限定商品やサービスを展開してまいります。また、不採算店舗の改廃による店舗網の見直し及び店舗オペレーションの改善により営業効率の向上を図ってまいります。新規出店は移転で3店舗を予定しております。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、新しいウエディングスタイルを開発・提案するとともに、コスト構造の見直しを継続して進めてまいります。

エンターテイメント事業は、様々なコンテンツや新サービスを導入することで「シェアリングスペース」業態としての客層の拡大と利用頻度の向上を図ってまいります。新規出店は前期から延期していた店舗を含め快活CLUBで33店舗、FIT24で60店舗を予定しております。

以上の諸施策を実施し各事業において利益の確保を目指してまいります。

また、セグメント別の業績は、以下のとおり予想しております。

【2022年3月期のセグメント別予想】

(単位：百万円)

| | ファッション事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | エンターテイメント事業 | 不動産賃貸事業 | その他 | 連結 |
|----------|----------|-----------------|-------------|---------|-----|---------|
| 売上高 | 90,500 | 10,850 | 66,550 | 4,000 | 200 | 169,350 |
| 前年同期比(%) | 106.0 | 135.1 | 137.2 | 103.2 | — | 118.3 |
| セグメント利益 | 3,000 | 300 | 1,500 | 850 | 60 | 5,000 |
| 前年同期比(%) | 200.1 | — | — | 125.2 | — | — |

(注) 1. セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は連結上の調整額です。

2. その他は広告関連事業等です。

なお、各事業の既存店増収率の前提は以下のとおりです。

(単位：%)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 上半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 下半期 | 通期 |
|-------------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|
| ファッション事業 | 9.0 | △5.0 | 2.2 | 0.8 | 11.8 | 7.4 | 5.5 |
| エンターテイメント事業 | 29.0 | 21.5 | 24.4 | 23.8 | 30.4 | 27.1 | 25.9 |

(注) アニヴェルセル・ブライダル事業は、既存店の施行組数前年比を205.7%、組単価は89.7%を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は、すべて国内で展開しており、また、海外からの資金調達の実現性が乏しく、海外投資家の割合も大きくないこと等から、会計基準は日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、当社グループの事業展開や他社の動向等を踏まえて、IFRS(国際財務報告基準)の適用について適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,843 | 29,941 |
| 売掛金 | 8,455 | 10,686 |
| たな卸資産 | 24,181 | 20,112 |
| その他 | 8,851 | 7,152 |
| 貸倒引当金 | △36 | △40 |
| 流動資産合計 | 65,297 | 67,852 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 141,422 | 147,565 |
| 減価償却累計額 | △74,921 | △78,690 |
| 建物及び構築物 (純額) | 66,501 | 68,875 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | 18,214 | 19,318 |
| 減価償却累計額 | △9,963 | △10,830 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 (純額) | 8,250 | 8,487 |
| 土地 | 36,138 | 36,138 |
| リース資産 | 16,497 | 17,647 |
| 減価償却累計額 | △10,374 | △10,684 |
| リース資産 (純額) | 6,122 | 6,962 |
| 建設仮勘定 | 519 | 2,305 |
| 有形固定資産合計 | 117,533 | 122,769 |
| 無形固定資産 | 5,631 | 5,505 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,706 | 2,612 |
| 差入保証金 | 7,740 | 7,409 |
| 敷金 | 20,653 | 20,752 |
| 繰延税金資産 | 8,273 | 8,538 |
| その他 | 2,048 | 1,860 |
| 貸倒引当金 | △40 | △40 |
| 投資その他の資産合計 | 41,382 | 41,133 |
| 固定資産合計 | 164,546 | 169,407 |
| 資産合計 | 229,843 | 237,260 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 14,563 | 14,241 |
| 電子記録債務 | — | 2,660 |
| 短期借入金 | — | 11,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,493 | 5,418 |
| リース債務 | 2,024 | 2,200 |
| 未払金 | 5,515 | 5,083 |
| 未払法人税等 | 407 | 679 |
| 賞与引当金 | 1,357 | 1,013 |
| 役員賞与引当金 | 39 | — |
| その他 | 5,187 | 5,545 |
| 流動負債合計 | 32,587 | 47,842 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 40,332 | 45,914 |
| リース債務 | 4,636 | 5,144 |
| ポイント引当金 | 695 | 320 |
| 退職給付に係る負債 | 1,276 | 1,192 |
| 資産除去債務 | 7,591 | 7,560 |
| その他 | 3,513 | 3,435 |
| 固定負債合計 | 58,046 | 63,567 |
| 負債合計 | 90,634 | 111,409 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 23,282 | 23,282 |
| 資本剰余金 | 27,823 | 27,747 |
| 利益剰余金 | 96,298 | 81,571 |
| 自己株式 | △7,592 | △7,438 |
| 株主資本合計 | 139,812 | 125,162 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △726 | 251 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △105 | 72 |
| その他の包括利益累計額合計 | △831 | 324 |
| 新株予約権 | 228 | 363 |
| 純資産合計 | 139,209 | 125,850 |
| 負債純資産合計 | 229,843 | 237,260 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 180,220 | 143,169 |
| 売上原価 | 107,737 | 94,805 |
| 売上総利益 | 72,483 | 48,364 |
| 販売費及び一般管理費 | 65,833 | 54,157 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 6,649 | △5,793 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 78 | 67 |
| 受取配当金 | 73 | 27 |
| 受取補償金 | 85 | 68 |
| 違約金収入 | — | 45 |
| その他 | 321 | 156 |
| 営業外収益合計 | 557 | 365 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 282 | 357 |
| 固定資産除却損 | 839 | 443 |
| その他 | 583 | 378 |
| 営業外費用合計 | 1,705 | 1,178 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 5,501 | △6,606 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 65 | — |
| 投資有価証券売却益 | 100 | 4 |
| 新株予約権戻入益 | 4 | 70 |
| 雇用調整助成金等 | — | 691 |
| 特別利益合計 | 170 | 767 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 3,710 | 1,991 |
| 災害による損失 | 169 | — |
| 投資有価証券評価損 | 84 | 1,369 |
| 臨時休業等による損失 | — | 2,200 |
| 事業構造改善費用 | — | 213 |
| 特別損失合計 | 3,964 | 5,775 |
| 税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△) | 1,707 | △11,614 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 818 | 786 |
| 法人税等調整額 | 441 | △470 |
| 法人税等合計 | 1,260 | 316 |
| 当期純利益 | 447 | △11,931 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 447 | △11,931 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | 447 | △11,931 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,096 | 977 |
| 退職給付に係る調整額 | △15 | 177 |
| その他の包括利益合計 | △1,112 | 1,155 |
| 包括利益 | △664 | △10,775 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △664 | △10,775 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 23,282 | 27,846 | 100,488 | △6,302 | 145,315 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,637 | | △4,637 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 447 | | 447 |
| 自己株式の取得 | | | | △1,399 | △1,399 |
| 自己株式の処分 | | △22 | | 110 | 87 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △22 | △4,190 | △1,289 | △5,502 |
| 当期末残高 | 23,282 | 27,823 | 96,298 | △7,592 | 139,812 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|-------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 370 | △89 | 280 | 75 | 145,671 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △4,637 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | 447 |
| 自己株式の取得 | | | | | △1,399 |
| 自己株式の処分 | | | | | 87 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △1,096 | △15 | △1,112 | 153 | △958 |
| 当期変動額合計 | △1,096 | △15 | △1,112 | 153 | △6,461 |
| 当期末残高 | △726 | △105 | △831 | 228 | 139,209 |

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 23,282 | 27,823 | 96,298 | △7,592 | 139,812 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,795 | | △2,795 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失 | | | △11,931 | | △11,931 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | △76 | | 154 | 77 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △76 | △14,726 | 153 | △14,649 |
| 当期末残高 | 23,282 | 27,747 | 81,571 | △7,438 | 125,162 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|-------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △726 | △105 | △831 | 228 | 139,209 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △2,795 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失 | | | | | △11,931 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | 77 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 977 | 177 | 1,155 | 135 | 1,290 |
| 当期変動額合計 | 977 | 177 | 1,155 | 135 | △13,359 |
| 当期末残高 | 251 | 72 | 324 | 363 | 125,850 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | 1,707 | △11,614 |
| 減価償却費 | 8,807 | 9,380 |
| 減損損失 | 3,710 | 1,991 |
| 臨時休業等による損失 | — | 2,200 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 158 | 184 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △177 | △374 |
| 受取利息及び受取配当金 | △151 | △94 |
| 支払利息 | 282 | 357 |
| 投資有価証券評価損 | 84 | 1,369 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,337 | △2,230 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,392 | 4,069 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △3,598 | △322 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △97 | △160 |
| その他 | 924 | 633 |
| 小計 | 16,383 | 5,390 |
| 利息及び配当金の受取額 | 143 | 120 |
| 利息の支払額 | △276 | △348 |
| 法人税等の支払額 | △2,953 | △840 |
| 法人税等の還付額 | 1,506 | 1,869 |
| 臨時休業等による損失の支払額 | — | △1,839 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,803 | 4,351 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △13,959 | △10,270 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △971 | △670 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △838 | △931 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 235 | 551 |
| 信託受益権の純増減額(△は増加) | 21 | 334 |
| その他 | △907 | △531 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △16,418 | △11,518 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | 11,000 |
| 長期借入れによる収入 | 9,000 | 11,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,650 | △3,493 |
| リース債務の返済による支出 | △2,013 | △2,446 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,399 | △0 |
| 配当金の支払額 | △4,636 | △2,795 |
| その他 | 600 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,098 | 13,265 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △2,714 | 6,098 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,558 | 23,843 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 23,843 | 29,941 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表より適用し、連結財務諸表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従って、前連結会計年度に係る内容については記載していません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り)

1. 店舗固定資産の減損

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

(百万円)

| | 当連結会計年度 | | |
|---------------------------------|----------|-----------------|--------------|
| | ファッション事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | エンターテインメント事業 |
| セグメント別固定資産の期末帳簿価額 (減損損失計上後)※ | 58,167 | 30,653 | 61,538 |
| 減損損失 | 904 | 601 | 485 |

※ 店舗固定資産及び共用資産等を含みます。

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

① 見積りの算出方法

減損の兆候の把握、減損損失の認識及び測定は、各店舗の翌連結会計年度予算及び将来キャッシュ・フローの見積りを使用しております。

資金生成単位は、各店舗を独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位としており、各店舗の営業損益が過去2か年連続してマイナスとなった場合、当年度がマイナスであり翌年度予算も継続してマイナスである場合及び店舗の固定資産の時価が著しく下落した場合、あるいは店舗閉鎖の意思決定をした場合等に減損の兆候を把握しております。減損の兆候が把握された店舗については、将来キャッシュ・フローを見積り、割引前将来キャッシュ・フローの合計が当該店舗の固定資産の帳簿価額を下回る場合には、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。回収可能価額は正味売却価額と使用価値のいずれか高い金額によっております。

② 主要な仮定

将来キャッシュ・フローの見積りは、適切な権限を有する経営者の承認を得た事業計画に基づく各店舗の将来の収益予測及び営業利益予測に基づいております。割引前将来キャッシュ・フローの合計及び使用価値の算定にあたっては、各店舗の営業継続期間の予測を20年又は契約更新が出来ない店舗は契約期間、あるいは退店予定までの期間としております。

新型コロナウイルス感染症(以下、「同感染症」といいます。)の影響については、その収束時期を2022年3月末とするシナリオを想定し、同感染症の収束後も顧客の需要は同感染症の拡大以前には戻らないという仮定に基づいております。

(ファッション事業)

ファッション事業は、開店初年度は初期費用がかかり通常営業損失になるため、減損の兆候を把握する対象から除外しております。また、将来の収益予測を見積りにあたり、翌連結会計年度以降の既存店売上高合計は、同感染症の影響を受けていない2019年3月期と比べ、86%から92%で推移するとの仮定を置いております。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業は、同感染症の影響による市場環境の変化により一組当たりの単価が下落しております。将来の収益予測を見積るにあたり、翌連結会計年度以降の一組単価は、同感染症の影響を受けていない2019年3月期と比べ、概ね88%から90%との仮定を置いております

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業の顧客の数は認知度の向上とともに初年度から3年程度増加する傾向があり、出店初年度は初期費用がかかり通常営業損失になるため減損の兆候を把握する店舗から除外しております。将来の収益予測を見積るにあたり、翌連結会計年度以降の既存店売上高合計は、同感染症の影響を受けていない2019年3月期と比べ、93%から96%で推移するとの仮定を置いております。

(3) 翌連結会計年度の連結財務諸表に与える影響

同感染症の影響等により翌連結会計年度以降の収益予測及び営業利益予測の仮定が大きく異なった場合には、翌連結会計年度の減損損失に影響を与える可能性があります。

当連結会計年度が開店初年度であるため、また、減損損失の兆候を把握したが将来の収益予測及び営業利益予測により、減損損失を計上しなかった店舗の固定資産の帳簿価額は以下のとおりです。

(百万円)

| | 当連結会計年度 | | |
|------------------------------------|----------|-----------------|-------------|
| | ファッション事業 | アニヴェルセル・ブライダル事業 | エンターテイメント事業 |
| 開店初年度であるため減損の兆候から除外した店舗の固定資産帳簿価額 | 282 | — | 7,538 |
| 減損の兆候を把握したが減損損失を計上しなかった店舗の固定資産帳簿価額 | 6,273 | 2,363 | 12,309 |

2. 繰延税金資産の回収可能性

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

(百万円)

| | 当連結会計年度 |
|--------|---------|
| 繰延税金資産 | 8,538 |

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

① 算出方法

当社グループの各事業は連結子会社において行われており、連結子会社ごとに将来加算一時差異の解消スケジュール、収益力に基づく将来の課税所得及びタックス・プランニング等に基づいて、将来の税負担を軽減する効果を有する範囲内で繰延税金資産を計上しております。将来の収益力に基づく各連結子会社の課税所得見込みは、適切な権限を有する経営者の承認を得た事業計画に基づいております。

② 主要な仮定

各連結子会社が策定した事業計画には将来の需要動向や売上予測等の見積りが含まれておりますが、これらの見積りには、同感染症が2022年3月末に収束するシナリオを想定し、同感染症の収束後も顧客の需要は同感染症の拡大以前には戻らないという仮定に基づいております。この仮定の内容は、「1. 店舗固定資産の減損」に記載しております。なお、連結子会社の株式会社快活フロンティアの2022年3月期以降の事業計画には、当期の新規出店68店舗や翌期以降の出店計画に伴う収益の見込みが含まれております。

③ 翌連結会計年度の財務諸表に与える影響

同感染症の影響等により翌連結会計年度以降の収益予測及び営業利益予測の仮定が大きく異なった場合には、翌連結会計年度の繰延税金資産及び法人税等調整額の増減に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、当社が純粋持株会社として各社の事業をサポートするとともに、当社及び各事業会社は取り扱う商品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社及び各事業会社が取り扱う商品・サービス別セグメントから構成されており、「ファッション事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「ファッション事業」は、メンズ及びレディース衣料の企画販売、「アニヴェルセル・ブライダル事業」は、結婚式場の運営、「エンターテイメント事業」は、時代のニーズに合わせた様々な“こと”を楽しむ空間とサービスを提供する快活CLUB及びフィットネスジム並びにカラオケルームの展開、「不動産賃貸事業」は、各事業の閉店後の店舗等を当社グループ内外に賃貸する等の事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用している会計処理の方法と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 連結 財務諸表 計上額 (注)2 |
|------------------------|--------------|-------------------------|---------------------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | ファッション 事業 | アニヴェル セル・ブラ イダル事業 | エンターテ イメント 事業 | 不動産賃貸 事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 98,351 | 22,260 | 58,388 | 1,220 | 180,220 | — | 180,220 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1 | 9 | 0 | 2,403 | 2,415 | △2,415 | — |
| 計 | 98,352 | 22,270 | 58,388 | 3,624 | 182,636 | △2,415 | 180,220 |
| セグメント利益 | 2,886 | 439 | 2,672 | 668 | 6,667 | △17 | 6,649 |
| セグメント資産 | 102,989 | 37,315 | 56,929 | 1,468 | 198,704 | 31,139 | 229,843 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,919 | 1,438 | 3,956 | 62 | 8,376 | 346 | 8,723 |
| のれん償却額 | — | — | 3 | — | 3 | — | 3 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 2,116 | 401 | 17,569 | 29 | 20,116 | 250 | 20,367 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去4,281百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,299百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。
 - (2) セグメント資産の調整額31,139百万円には、子会社に対する債権の相殺消去△42,725百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産73,865百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の土地、本社建物及び構築物です。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額250百万円は、主に全社のシステム関連投資です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|--------------|-------------------------|---------------------|-------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | ファッ ション事業 | アニヴェ ルセル・プ ライダル事業 | エンター テイメント 事業 | 不動産賃 貸事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 85,372 | 8,033 | 48,499 | 1,173 | 143,078 | 91 | 143,169 | — | 143,169 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 15 | 0 | — | 2,703 | 2,719 | — | 2,719 | △2,719 | — |
| 計 | 85,387 | 8,033 | 48,499 | 3,876 | 145,797 | 91 | 145,889 | △2,719 | 143,169 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 1,499 | △3,088 | △5,190 | 678 | △6,101 | 64 | △6,036 | 243 | △5,793 |
| セグメント資産 | 99,479 | 34,053 | 67,964 | 1,235 | 202,732 | — | 202,732 | 34,527 | 237,260 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,578 | 1,309 | 5,117 | 26 | 9,031 | — | 9,031 | 272 | 9,303 |
| のれん償却額 | — | — | 3 | — | 3 | — | 3 | — | 3 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 1,129 | 77 | 14,949 | 6 | 16,162 | — | 16,162 | 369 | 16,531 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業です。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失の調整額243百万円には、セグメント間取引消去4,190百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,947百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

(2) セグメント資産の調整額34,527百万円には、子会社に対する債権の相殺消去△57,867百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産92,395百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の土地、本社建物及び構築物です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額369百万円は、主に全社のシステム関連投資です。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,641.34円 | 1,479.87円 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | 5.23円 | △140.77円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益について、前連結会計年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、また、当連結会計年度は1株当たり純損失であり希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円) | 447 | △11,931 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円) | 447 | △11,931 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 85,577 | 84,759 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概 要 | 2015年11月18日開催の取 締役会決議による新株予 約権 第5回新株予約権 新株予約権の数 7,300個 2019年6月27日開催の取 締役会決議による新株予 約権 第6回新株予約権 新株予約権の数 11,345個 | 2019年6月27日開催の取 締役会決議による新株予 約権 第6回新株予約権 新株予約権の数 10,465個 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 139,209 | 125,850 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 228 | 363 |
| (うち新株予約権(百万円)) | (228) | (363) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 138,981 | 125,487 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株 式の数(千株) | 84,675 | 84,796 |

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2021年4月28日開催の取締役会において、資本効率の向上を目的として、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

1. 消却する株式の種類 当社普通株式
2. 消却する株式の総数 3,000,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合3.31%)
3. 消却予定日 2021年5月17日

4. その他

役員の変動

新任取締役候補(2021年6月23日付予定)

取締役 高橋 光夫(現 (株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス 理事
及びMIGホールディングス(株) 社外取締役)

(注) 同氏は社外取締役の候補者です。